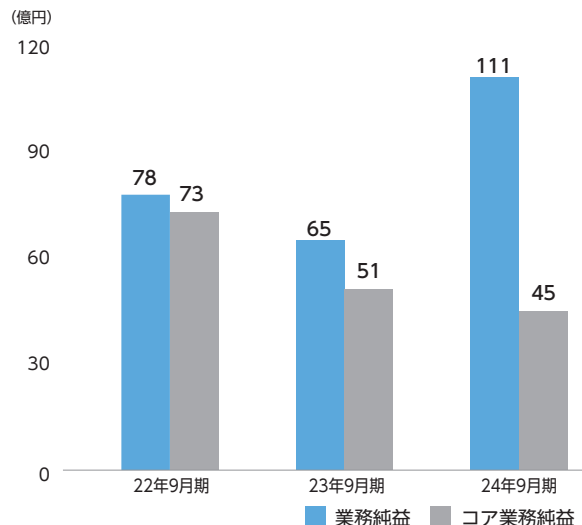


平成24年度中間期の営業の概況(単体)

業務純益とコア業務純益

業務純益は、資金利益は減少しましたが、債券関係損益等その他業務利益の増加により、前年同期比46億26百万円増加し111億57百万円となりました。なお、債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたコア業務純益は、前年同期比5億70百万円減少し45億54百万円となりました。

● 業務純益とコア業務純益

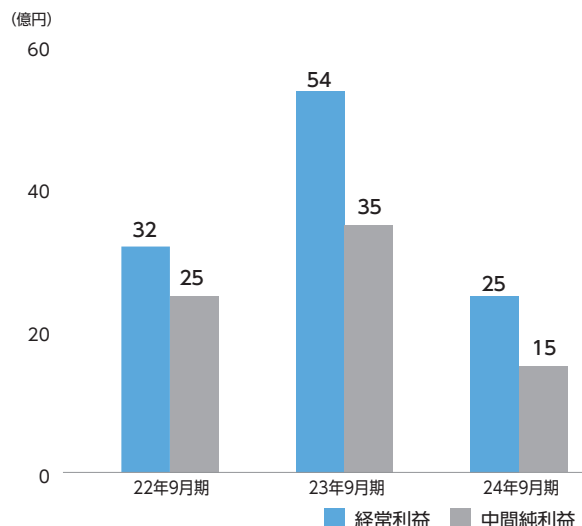


経常利益と中間純利益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が減少しましたが、国債等債券売却益の増加等により、前年同期比16億72百万円増加し277億10百万円となりました。また、経常費用は貸倒引当金繰入額の増加や保有株式の減損処理額の増加等により、同45億16百万円増加し251億31百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比28億45百万円減少し25億78百万円となりました。中間純利益は同19億80百万円減少し15億95百万円となりました。

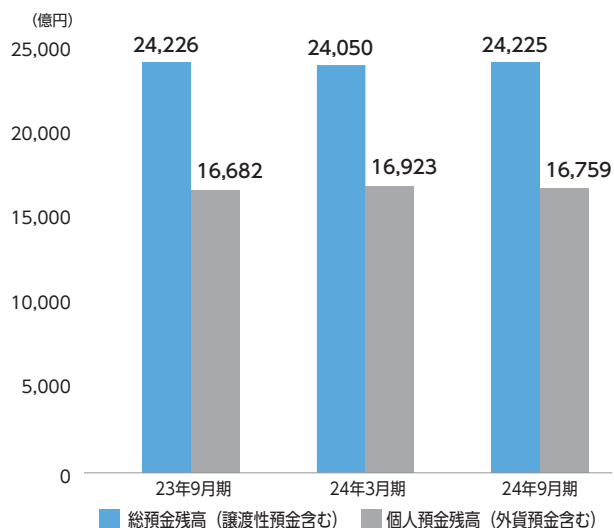
● 経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

安定的な資金確保に努めました結果、総預金（譲渡性預金含む）は前年度末比175億円増加し、前年同期末とほぼ同額の2兆4,225億円となりました。個人預金（外貨預金含む）は前年度末比164億円減少し1兆6,759億円となりました。前年同期末比では77億円増加しています。

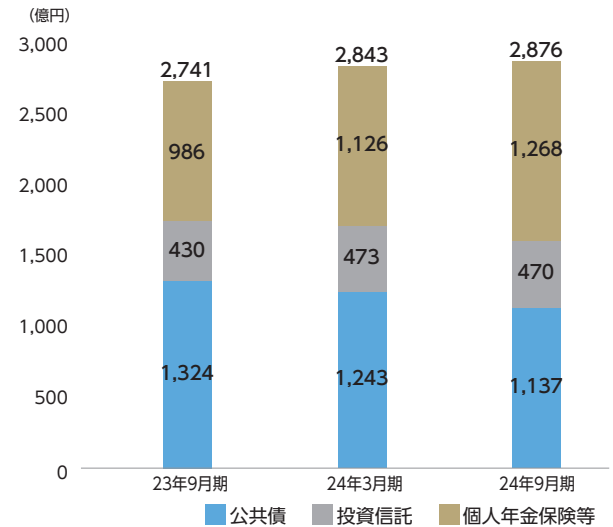
● 総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高（外貨預金含む）



個人預り資産

お客様の資金運用ニーズの多様化にお応えするよう努めました結果、個人年金保険等が増加しました。個人預り資産（預金を除く）合計では前年度末比33億円増加し、2,876億円となりました。前年同期末比では135億円増加しました。

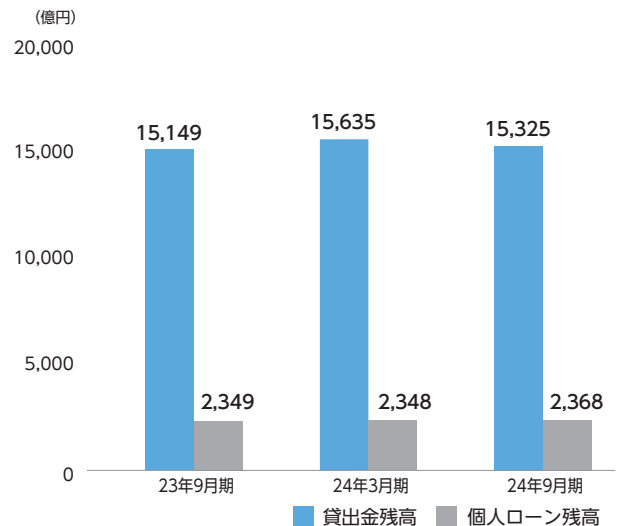
● 個人預り資産残高(公共債、投資信託、個人年金保険等)



貸出金と個人ローン

貸出金残高は、景気低迷による資金需要の減少等により、前年度末比310億円減少し1兆5,325億円となりました。前年同期末比では176億円増加しています。個人ローンにつきましては、住宅ローンの増加等により前年度末比20億円増加し2,368億円となりました。前年同期末比では19億円増加しています。

● 貸出金残高と個人ローン残高



有価証券

有価証券は国債等の売却により、前年度末比462億円減少し7,706億円となりました。前年同期末比では510億円減少しました。

● 有価証券残高

